

産業遺産情報センター開所式 主催者挨拶

皆様こんにちは、内閣府地方創生推進事務局長の海堀でございます。本日は、産業遺産情報センターの開所式にご出席いただきまして、誠に有難うございます。皆様のご尽力により、本日、無事に開所式を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

当センターの設置に至るこれまでの経緯につきましては、皆様ご存じの通りですが、平成27年7月に「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産登録された際に、日本政府代表団から、インフォメーションセンターの設置についてインタープリテーション戦略に盛り込む旨発言し、平成29年11月にユネスコに提出した同戦略の中で、2019年度(令和元年度)中に総合的な情報センターとして「産業遺産情報センター」を東京に設置する方針を示したところです。

これを受けまして、産業遺産情報センターに関する関係府省連絡会議において、総務省統計局別館を改修して同センターを設置する方針を決定したのち、昨年度より改修工事に入り、今年度、展示造作工事を進め、本日、開所する運びとなりました。

この間、多くの課題がございましたが、関係する自治体・民間企業の皆様、外務省をはじめとする関係府省の皆様、多くの有識者の方々に、ご支援・ご協力を賜り、ようやく開所できることとなりましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、政府の新型コロナウイルス対応を考慮し、他の類似施設と同様、当面の間は休館の予定としています。また、展示物については、より充実したものとするため、今年度、当初予算のほか、補正予算を確保し、順次アップグレードしていくこととしております。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。